



令和二年 葉月号

# きぼちゃんず ボイス

Vol.122

堺市議会議員 木畑ただし 市政報告



## 感染防止と豪雨対策の夏、残暑お見舞い申し上げます！

新型コロナウイルス感染症に関して、堺市衛生研究所で実施した検査の状況ですが、7月25日現在で検査を受けられた方が5014名、そのうち陽性の方が188名（うち7名は堺市外）となっています。第二波の到来が危惧される中、堺市においても、市民一人ひとりの行動変容の合図として、「堺シグナル」を発信しています。同じく7月25日段階で直近1週間の累積感染経路不明者数が26人となっておりステージ3（要警戒）と判断されていることから、予断を許さない状況が続いております。また、報告が遅くなりましたが、今年度は議会の担いとして市民人権委員長を拝命することとなりました。市民人権委員会は危機管理室、市民人権局、各区役所、消防局を所管する、いわば最も市民生活に身近な課題を議論する委員会とも言えます。市民生活に直結した命と健康に係る対策をしっかりと提案&実行して参ります！

### 6月～7月の活動報告

大浜にある堺市消防局消防司令センターにお伺いして、新たに整備された消防行政統合システムについてのヒアリングと疑似体験を行いました！ 通報された携帯電話のGPSと連動して画面上で地図が確定される様子はさながらスパイ映画のワンシーンのようでもありました！

#### 6月30日 消防司令室の視察



7月18日 校区子ども会行事

今年度は校区連合子ども会の役員を仰せつかっています。4月以降コロナの影響で活動がストップしていましたが、役員の方々が知恵を出し合って、万全の感染防止対策を取りながら無事に行事再開ができました。子どもたちが安全に元気で遊べる環境を一日でも早く取り戻したい！

## 一部で疑惑として報道された件の「終結宣言」について

この間、突然議会で取り上げられ、私の名前も挙げられるなど、大変お騒がせしておりました「一部報道に関する件（コロナ禍における麻雀騒動）」について、7月20日に開催された、堺市議会議会運営委員会において、「疑惑とされた日に議員と職員が麻雀をしたという客観的な証拠は確認されなかった」という調査結果に達し、議運委員長よりこの問題についての終結宣言がなされました。

そもそも本件は、情報源とされた市職員自身が「酒席での作り話だった」と認めて謝罪したにもかかわらず、その情報が拡散し続けたことを発端に始まりました。地域紙・泉北コミュニティが「確たる証拠もないまま、市議や市職員を名指した罪は重い。心証だけで疑惑があると決めつけ、潔白を証明しろとは無茶苦茶だ。」と指摘したように、議会での疑惑の提起の仕方そのものに、大きな問題があったのではないかと考えています。

## 名指しで疑惑とされたが最後まで具体的な証拠は示されず...

一方、私たちも疑惑をかけられた議員として、当初より疑惑は事実無根であると主張し、この件について説明する場を求めて参りました。議会総会では、「本人の行動を現認した第三者からの証言」など、多数の証言・直接証拠を提出し、議員として求められる説明責任は果たせたものと思います。各自が提出した証言・証拠は、「疑惑とされた事実はなかった」と、第三者が十分に推認できるレベルにあったことも、一定の潔白を示す調査結果につながったと自負しています。

とはいえ、本来、コロナ対策に集中せねばならない大切な時期に、このような問題で議会の貴重な時間を使ってしまったこと、また、市民や支援者の皆様に多大なご心配をおかけしたことにつきましては、大変申し訳なく思っております。

同様に、本件の総括の中で、疑惑をかけた側、かけられた側の議員双方について、市民に疑念を持たれかねない職員との近すぎる関係性があったと指摘されたことは重く受け止め、真摯に反省せねばなりません。

今後は、これまで以上に、コロナ対応をはじめとする喫緊の課題解決はもちろんのこと、堺市民のため、そして、堺市勢発展のために全力で働くことを通じて、私たちだけでなく、堺市議会に対する不信感をも払拭していかねばならないと決意を新たにしております。今後ともご指導、ご鞭撻を宜しくお願い致します！！

### 堺市議会議員 木畑ただし 略歴



昭和51年7月19日生 妻・一男二女  
と5人家族 大教大附平野中卒、大学入学検定合格、甲南大学法学部卒、同志社大大学院中退、衆議員公設秘書を経て、平成23年4月堺市議会議員初当選。平成31年中区3位で3期目当選！現在、堺大魚夜市本部顧問、堺少年軟式野球協会顧問、保護司、防災士として明日へ希望が持てる堺のまち創りに奮闘中！



LINE@始めました！

問合せ 事務所☆堺市中区深井沢町3287 MAIL☆info@kibata.jp